

2022年2月25日

各位

日本ゼオン、「光に適合したチップ等の高性能化・省エネ化 不揮発メモリ開発」が NEDO グリーンイノベーション基金事業に採択

日本ゼオン株式会社

日本ゼオン株式会社（社長：田中 公章／以下、「日本ゼオン」）は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（以下、「NEDO」）から公募された「グリーンイノベーション基金事業／次世代デジタルインフラの構築プロジェクト／次世代グリーンデータセンター技術開発」に対して「光に適合したチップ等の高性能化・省エネ化 不揮発メモリ開発」（以下、「本事業」）を提案し、採択されました^{※1}。

グリーンイノベーション基金事業は、「2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする」という国が掲げた目標の達成に向けて、エネルギー・産業部門の構造転換や、大胆な投資によるイノベーションの加速を目指して、経済産業省により設置された制度です。この目標に経営課題として取り組む企業等に対して、10年間、研究開発・実証から社会実装までを継続して支援するものです。

現在、世界のデータ量は年間約30%のペースで急増しており、それに伴いデータセンターサーバの市場規模は拡大の一途を辿っています。今後、大規模データセンターの急増により、データセンター全体の電力消費量も増加に転じることが予想され、これまでの技術進化では、電力消費量の増加に追いつかないと予想されています。また、電力消費量の削減が社会課題となる中で、常に給電が必要な揮発メモリ（＝DRAM）の代替として、給電を停止しても記憶内容が失われない不揮発メモリが注目されていますが、DRAMに匹敵する高速動作特性の克服が課題となっていました。

本事業では、当社が有するカーボンナノチューブ（以下、「CNT」）の関連技術を活用し、低消費電力化、大容量化やコストの面でDRAM代替が可能な「CNTを用いた不揮発メモリ（＝NRAM）」を実用化するための技術を確立し、2030年代にNRAMを社会実装することを目指します。

日本ゼオンは、産業のカーボンニュートラル化、および持続可能な社会の実現へ貢献してまいります。

※1 NEDOのニュースリリース

<https://www.nedo.go.jp/news/press/AA5_101513.html>

以上

本件に関するお問い合わせ先

日本ゼオン株式会社 コーポレートサステナビリティ統括部門 広報室 電話：03-3216-2747